

藤沢

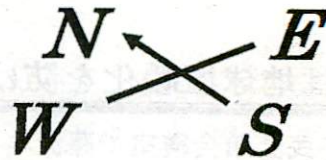
エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

2011年4月1日

第203号



- 主 事
- ・東日本大震災「解体撤去しかない福島原発」
 - ・市議会議員候補予定者に公開質問状
 - ・「森林は地球温暖化を防げるか」200号記念

<http://comcom.jca.apc.org/econet/>

事務局 〒252-0816 藤沢市遠藤 849-9 青柳

☎/FAX 0466-87-4922

e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp

～東日本大震災を考える～

すべての原発を解体・撤去しよう！

10メートルの防波堤を軽々と越えて、車も家も人も町ぐるみ呑み込む津波のすさまじさに息をのんだ。地震・津波という自然災害に関して言えば、正確な予測・予知と迅速で確実な情報伝達、日頃からの避難を柱とする防護と言うことに尽きるだろう。

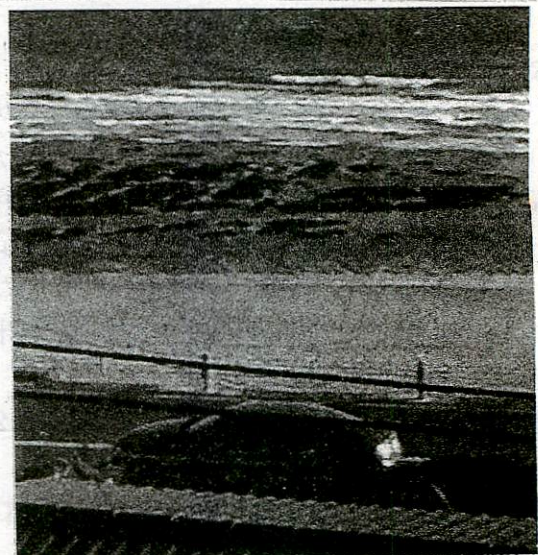
そこで、目下世界の関心を集めている福島第1原発の事故について考えてみたい。なお、東京電力福島第2原発3号機で1989年に起きた再循環ポンプ破損事故もけっして小さくはない。

原発事故というとまず頭に浮かぶのが1986年におきた旧ソ連のチェルノブイリのそれであり、1979年のアメリカのスリーマイル島での事故であろう。では日本ではどうか。小さな事故は別としてこれまでマスコミを通じて全国に知らされたところでは福井県敦賀市の動力炉・核燃料開発事業団の高速増殖原型炉もんじゅで1995年に起きたナトリウム火災事故、茨城県東海村のJCO東海事業所で1999年に起きたウラン溶液の作業中の臨界事故があげられる。この事故で作業員3名が被爆し内1名が被爆死している。

ちなみにチェルノブイリの場合、有名な『石の棺』を造るに携わった作業員だけでも20万人を越え、外に事故処理作業員が30万人で合計50万人超の人々が被爆の危険にさらされ、内3万人が身体障害者となり、すでに5000人以上が死亡したと伝えられる。つまり、洋の東西を問わず、原子力発電は『安全』でもなければ『安心』でもないのである。

日本の場合、地震列島といわれるほど地震が多く、また長い海岸線に何時津波が押し寄せるかも知れず、従って現在のように原発の立地として海岸隣接地を選ぶのは特段に危険であると言わざるを得ない。このさい原発に依存するエネルギー政策を根本から見直して、次世代に引き継ぐにふさわしい政策の確立とそれを後押しするライフプランを構築しようではないか。

井之川平等



3月11日14時ごろ 七里ヶ浜から波が引いていき
海底が現れ、その後津波が押し寄せた（吉田さん撮影）

藤沢エコネットニュース 200 号記念
レセプション
記念講演

森林は地球温暖化を防げるか

2月19日、市民会館会議室で藤沢エコネットニュース 200 号記念レセプションを開催しました。2011 年 1 月号は 200 号記念特集号として、グリーン表紙、28P で発行しました。3 月には、藤沢エコネットは発足から 17 年を迎え、毎月休むことなくニュースを発行してきました。

継続は力なりと地道に続けていくうちにいつの間にか、200 号にたどりついてたという思いです。

第 1 部 記念講演

約 40 名の参加があり、始めに記念講演「森林は地球温暖化を防げるか」というテーマで東京農工大名譽教授の木平勇吉氏に CO₂ の吸収・貯蔵・排出の仕組みについて実習を交えて学習しました。

樹木は成長する時、CO₂ を吸収し、幹や枝、根となって樹木に CO₂ を貯蔵している。しかし、樹木が腐るときや燃えるときは有機物が分解されて CO₂ を大気に排出する。すなわち、森林は CO₂ を大気と地上に循環させているのである。よって、森林は地球温暖化を防ぐかという、その答えは、その年の森林の吸収量と排出量を調査しないと答えられないという事である。

森林は枯れたり山火事があると、CO₂ を排出するし、よく手入れをすれば成長して吸収し、原始林などは大量に貯蔵している。

実習では、半径 10 センチほどの年輪が入った輪切りの木片を全員に配り、その年輪の中心からの長さを計ってその年までにその木全体が吸収した CO₂ の量を計算した。樹高や幹体積などいろいろ考慮に入れて計算した結果、まとめると最終的に簡単な数式で CO₂ の貯蔵量を計算できることが紹介された。

CO₂ 貯蔵量 (kg) = 半径 (cm) × 半径 × 半径 × 0.2
である。例えば半径 8.8cm の時は

CO₂ 貯蔵量 = 8.8 × 8.8 × 8.8 × 0.2 = 136 kg であり、1 年間にどれだけ吸収したかは、

当年の CO₂ 吸収量

= 当年の CO₂ 貯蔵量 - 前年の CO₂ 貯蔵量
で計算する。また、

藤沢エコネットニュース第 203 号



木材に含まれる CO₂ の量 = 乾燥木材 × 44 / 12
ガソリン 1 リットル中の CO₂ = 3.1 kg
乾燥木材 1 kg 中の CO₂ = 1.8 kg である。

木平氏は神奈川県森林審議会会長や藤沢の川名自然フォーラム代表でもあり、パワーポイントで川名の美しい自然を写していただきました。

第 2 部 懇親会

経過報告の後、第 2 部の懇親会を開催しました。紅茶・コーヒーの乾杯から始まり、元副代表諏訪氏が藤沢エコネット発足時、川名清水谷戸見学会を開催して瑞々しい体験をした思い出が語られました。江の島元水族館長の廣崎氏からは身に余る評価を藤沢エコネットにして頂き、藤沢市石けん推進協議会の手塚氏や大庭自然探偵団の袖岡氏など各環境団体の熱い活動が語られ、市内の環境保全活動の活発さを感じました。東北大名誉教授川崎健氏からは情報交換のみでなく提言活動をと方向を示す発言がありました。アンケートより (青柳節子)

●エコネット 200 号で一番印象に残る記事は？

・現場に出かけての体験談：多くの方が参加されるともっと良いです。

・ダイオキシン問題：ベトナム戦争の枯葉剤が使われた時生まれたベト、ドクちゃんのことをニュースで知った。ダイオキシンが川に流されていることにショックを受けました。

・全体的によくまとめられ、エコネットの歴史がよく分かったと共に皆様の活動と広がり継続、そしてエネルギーに敬服と感動を覚えました。

・荏原ダイオキシン事件：ホームページが出来たのもこの頃。市民・行政(市と県)一緒になって国を動かし底質基準が作られたことは画期的。

●講演の感想

・CO₂ 削減は一人ひとりの努力もそうですが、学ぶことから始める事ですね。遅咲きですが。

・大切な観点でしたが、グレードがもっと高い方が良かった。当初予定された「環境問題とメディアの役割」を聞きたかったです。

・森林資源の保全・活用の専門家から CO₂ の吸収・排出の仕組みについて具体的に年輪から測定法を教わることで大変参考になった。HP 等を通じもっと多くの人々に知ってほしい。

●今後取り上げて欲しい、とりあげるべき事

・活発な意見交換情報交換の場としてニュース、HP 運営を望む。21 世紀型の環境運動、政策提言力を強めていく事。市民参加を広げていく事。

市会議員候補者への環境・開発問題 公開質問

	質問	1. 取り組みたい環境問題	2. 武田薬品安全協議会			3. ごみ処理は税金で			4. 村岡新駅構想に			5. 公共施設の売却			6. 善行土地問題の100条委員会		
	名前	※下らんに記載	設置すべき	必要なし	どちらとも言えない	賄われるべき	思わない	どちらとも言えない	賛成	反対	どちらとも言えない	賛成	反対	どちらとも言えない	設置	必要なし	どちらとも言えない
1	青木仁子	1～10	○					○			○			○	○		
2	加藤なを子	1～4. 7～9	○			○				○			○		○		
3	土屋俊則	4. 6. 7. 8.	○			○				○			○		○		
4	東木久代	2. 5.			○			○			○			○			○
5	永井 譲	1～5 7. 8.	○			○					○		○		○		
6	浜元輝喜	1. 5. 7		○			○		○					○		○	
7	藤本まさき	1～10	○								○			○	○		
8	三野由美子	1～9			○		○				○		○		○		
9	柳沢潤次	1～10	○			○				○			○		○		
10	吉田あつき	1～5 7.			○			○			○			○			○
11	脇 れい子	1. 2. 5. 7. 8.	○				○			○			○		○		
12	渡辺慈子	1～8	○			○				○			○		○		

※ ①地球温暖化防止 ②緑地保全 ③生物多様性 ④ごみ問題 ⑤地産地消
⑥開発問題 ⑦交通体系 ⑧武田安全問題 ⑨博物館設置 ⑩その他

※立候補予定者43名にお送りし、12名にお答えいただきました 外の方にはお答えいただけませんでした

市議会立候補者への環境問題公開質問状

藤沢環境運動市民連絡会議（略称 藤沢エコネット）

4月24日は藤沢市議会議員選挙が実施されます。藤沢市は、みどりやなぎさの保全、ごみ減量、ダイオキシン問題
河川汚染対策、地球温暖化対策など様々な環境問題に取り組みながら、行政と市民がそれぞれの立場で、あるいは
協力して、良好な都市づくりをを目指しています。

当会、藤沢エコネットは、市主催ふじさわ環境フェアに毎年協力し、環境啓発と環境教育に取り組むと共に、1994年
創立以来「環境都市ふじさわの実現」に向かって、学習会や見学会、ニュース発行など、情報交換や提言活動を行っ
ています。 現在課題となっています次の環境・開発問題について、ご意見をお聞きたいと思えます。明確に○をつ
けてご回答いただけますようよろしくお願い申し上げます。

（質問は次ページ）

市議会立候補者へ環境問題公開質問状

質問1. 市議会議員に当選した後、取り組みたい環境問題をいくつでも○をつけてください。

1. 地球温暖化防止と低炭素都市ふじさわをめざす
(自然エネルギー、太陽光発電など)
2. 緑地、谷戸の保全
3. 生物多様性の保全
4. ごみ問題
5. 地産地消
6. 開発問題(幹線道路、村岡新駅など)
7. 交通体系の見直しと整備(歩道、自転車道、車道の分離など)
8. 武田薬品バイオ研究所の安全問題
9. 博物館の設置
10. その他

質問2. 武田薬品湘南研究所が2月中旬、稼働を始めました。大気や排水の影響がある、広い地域からの市民および専門家が参加する安全協議会を設置すべきだと思いますか。(藤沢市は武田薬品と環境保全協定を結び、近隣7町内会との連絡会議がつけられることになりました。)

質問3. 藤沢のごみ有料化裁判が最高裁で争われています。ごみ収集、処理は基本的に税金で賄われるべきと考えますか。

質問4. JR 東海道線の村岡新駅が藤沢・大船間に計画されていて、市税を何百億円か使うと言われています。この新駅構想に賛成ですか。

質問5. 市役所本館、市民会館など、老朽化している公共施設の建て替えは費用がかさむため、それら公共施設を売却し、民間に建設などを任せ、後にそれを借り上げる方式が検討されています。この売却方式に賛成ですか。

質問6. 計画がなかった善行の3000万円相当の土地を、1億円強で藤沢市土地開発公社が2008年に買ったという土地疑惑問題は、市議会で1票の差で100条委員会は設置されませんでした。その後、市総合計画に入り、善行里山づくり事業の計画地になりました。この問題について、100条委員会を設置すべきだと思いますか。

以上

藤沢市議会議員立候補予定者(43人) 様

〈藤沢エコネットニュース第203号〉

ECONET INFORMATION

野生動物管理の現状と課題

4月16日(土) 13:30~

日大生物資源科学部 大講堂

講師 三浦慎悟氏(早稲田大学人間科学部教授)

主催/問合せ 日本大学生物資源科学部

無料 ☎0466-84-3871

武田薬品排水問題裁判 第2回控訴審

4月13日(水) 11:30~

東京高等裁判所(霞ヶ関駅前) その後12:30から

経済同友会前で宣伝行動します

連絡先 0466-27-5368 紺野

遠藤笹窪谷観察会

4月24日(日) 慶応大学バス停集合(雨天中止)

9:10~昼食後13:00ごろ解散

主催/連絡先 浅野 0466-88-0201

かながわ環境白書(21年版)ができました

問い合わせ: 県環境計画課計画推進班

☎045-210-4061

藤沢エコネットからのお知らせ

会員募集 会費 3000円

事務局会議 4月18日(月) 14:00~

市民活動推進センター

《編集後記》3. 11東日本大震災に遭われた方々にお見舞い申し上げます。未曾有の災害にまるで映画のシーンのような津波と火災、ガレキにテレビくぎ付けとなった。そして福島原発は事故が起きてしまった。藤沢でもその日、鶴沼から湘南大庭市民センターへの避難があつたそうで、海岸沿いは避難場所の心配も人ごとではない。計画停電は2次災害をもたらし、暮らしに困った方も多かった。藤沢エコネットでは緊急に「原発危機と計画停電」の学習会を開き、専門家の意見や質問を聞くことができたので、原発の安全神話を振り切り、「原発に頼らない方法」を見つけ出して行こうとの話し合いを予定している。今は「募金」で心を伝えようではないか。(H)